

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 グルタプラス

製造業者情報
会社名 住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社
住所 大阪府大阪市中央区道修町二丁目2番8号
担当部門 RC/品質保証部
電話番号 06-6223-7543
FAX番号 06-6223-7531

推奨用途及び使用上の制限 動物用医薬品(消毒剤)

2. 危険有害性の要約

GHS分類
分類基準に該当しない。

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別 混合物

化学名及び一般名

成分名	CAS No.	含有量
グルタルアルデヒド	111-30-8	20.0%
メタノール	67-56-1	0.1~1.0%
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基炭素数12-15)	84133-50-6	3.0%
水、その他	7732-18-5	残部

危険有害成分

化学物質管理促進法 (PRTR)

第一種指定化学物質

グルタルアルデヒド No.85

ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基炭素数12-15)

No.407

指定化学物質はない(又は閾値未満)

第二種指定化学物質

労働安全衛生法

第57条 表示対象物質

グルタルアルデヒド No.139

第57条の2 通知対象物質

グルタルアルデヒド No.139

メタノール No.560

毒物及び劇物取締法

非該当

4. 応急措置

吸入した場合:

被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静にし、当該SDSや製品ラベル情報を医師に示して直ちに医療機関で手当てを受ける。

皮膚(または髪)に付着した場合:

汚染された衣類、靴を脱がせ、速やかに製品に触れた部分を大量の水または微温湯と石鹼で洗浄する。外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医療機関で手当てを受ける。

眼に入った場合:

直ちに大量の清浄な水で数分間注意深く洗浄する。まぶたの裏も含めて最低15分間洗浄した後、直ちに眼科で手当てを受ける。

飲み込んだ場合:

直ちに水でよく口の中を洗浄し、医療機関で手当てを受ける。嘔吐物は飲み込ませないようにする。

5. 火災時の措置

本品は引火性がなく、消防法の危険物適用外(非危険物)ではあるが、周辺火災の場合は、速

やかに容器を安全な場所に移す。

消火剤: 材質が、紙・布など燃え易く火がついた場合は、水・炭酸ガス・泡・粉末消火剤、乾燥砂で消火する。

使ってはならない消火剤: 情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項:

- ・ 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・ 作業の際には必ず保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、噴霧粒子を吸入しないようにする。

環境に対する注意事項:

- ・ 流出した製品が河川等に混入し、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収:

- ・ 漏出物は乾燥砂、土その他不燃性のものに吸収させてスコップ、ウエス等ですくい取りまたは掃き集めて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
- ・ 回収物は密閉できる空容器に回収し、関連法規に基づいて処置する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

- ・ 換気の良い場所で取り扱う。
- ・ 容器はその都度密栓する。
- ・ 皮膚、粘膜、又は着衣に付着したり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。
- ・ 取扱い後は手・顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。
- ・ 密閉された場所における作業では、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。

保管:

- ・ 保管場所は、食品、食器、飼料などと区別し、小児などの手の届かない所で、直射日光が当たらない乾燥した涼しい場所にする。
- ・ 他の容器に移して保管しないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具: 状況に応じて次の保護具を着用すること。

呼吸系の保護

本品は呼吸器刺激性があるため、許容濃度(グルタルアルデヒド 0.03ppm 日本産業衛生学会)を超えないように管理して、できるだけ認可されたフルフェイス型空気清浄呼吸器を使用する。

手の保護

本品に耐薬品性のある手袋(ブチルゴム製、もしくはニトリル/ブタジエンゴム製)を着用する。

眼の保護

ケミカルゴーグルもしくはフルフェイス型呼吸器を使用する。作業場のすぐ近くに洗顔器を設置する。

皮膚の保護

本品に耐薬品性のある保護衣、顔面シールド、長靴、エプロンなどの保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観(性状・臭気):

無色澄明～淡黄色澄明の液体

pH:

3.0～4.5

引火点:

なし

密度:

1.00～1.10 g/mL

溶解性:

水又はエタノールに極めて溶けやすく、アセトンに溶けやすい

その他:

情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性:

通常の実験においては安定。

反応性:

通常の実験においては安定。

避けるべき条件:

熱や発火源を避けること。

混触危険物質： 以下との接触は避ける：アミン類、アンモニア、強酸類、強塩基類、強酸化剤類。 以下のような金属との接触は避ける：アルミニウム、炭素鋼、銅、鉄、軟鋼。

危険有害な分解生成物： 刺激性ガス [-] NO_x[-] SO_x[-] その他[CO]

11. 有害性情報

(製剤の情報)

急性経口毒性： LD50 162 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性： 区分1に分類される成分を含有する。
眼の損傷/眼刺激性： 区分1に分類される成分を含有する。
呼吸器感作性： 区分1に分類される成分を含有する。
皮膚感作性： 区分1に分類される成分を含有する。
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)： 区分3に分類される成分を含有する。

(有効成分グルタルアルデヒドの情報)

急性経口毒性： LD50 66 mg/kg
急性経皮毒性： LD50 1360 mg/kg
急性吸入毒性(ミスト)： LC50 0.48 mg/L

12. 環境影響情報

(有効成分グルタルアルデヒドの情報)

生態毒性： 魚類(シープヘッドミノウ) 96hr LC50 32 mg/L
甲殻類(カイアシ類) 48hr LC50 3 mg/L
藻類(セネデスマス・サブスピカトウス) 72hr ErC50 0.6 mg/L

生分解性： 物質は易分解性である。

13. 廃棄上の注意

- ・ 自治体の条例や指導に従って処分すること。
- ・ 使用残、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理すること。
- ・ 容器、機械・装置等を洗浄した廃水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・ 廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関連する法規に従って処理を行うか、委託すること。
- ・ 河川、湖沼、下水道等の水系や地下水を汚染する場所には捨てないこと。

14. 輸送上の注意

共通： 運搬に際しては、容器の漏れのないことを確認して、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法に該当する場合は、それぞれの法規に定められた運送方法に従うこと。

海上輸送： 船舶安全法の定めるところに従うこと。

航空輸送： 航空法の定めるところに従うこと。

国際規制

国連分類： クラス 8
国連番号： 3265
品名： 腐食性液体(酸性、有機物)、n.o.s
容器等級： III
海洋汚染物質： 非該当

15. 適用法令

薬機法 動物用医薬品
消防法 非危険物
化学物質管理促進法(PRTR) 該当
労働安全衛生法 表示対象物質、通知対象物質
毒物及び劇物取締法 非該当

16. その他の情報(記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

- 1) 原料メーカーの安全データシート
- 2) 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人製品評価技術基盤機構)
- 3) 化学商品(化学工業日報社)
- 4) JIS Z 7253(2012) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の見取り図を対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

本品の使用に際しては、ラベル等の記載をよく読み、十分理解した上で、使用方法および用途を厳守して使用して下さい。

(複写はご遠慮ください)